

普及活動情勢報告（令和6年9月分）

中央西農業振興センター高知農業改良普及所

トマトの定植がはじまりました ～産地間交流～



意見交換の様子

9月6日、春野地域の促成トマトのほ場において、春野地域と日高村のトマト生産者が合同で意見交換会を行いました。

定植初期の栽培管理について、両地域ともに今夏の暑さが大きな課題となっており、農家からは高温時のかん水管理の注意点や遮光資材の活用など、暑さ対策を中心に活発な意見交換が行われました。今回の意見交換会をきっかけに温度管理の改善意識が向上するとともに、品質や収量の向上に向けての両地域のつながりも強まりました。

今後も普及所はJAと連携し、技術向上に向けて情報発信を行い、品質、収量の向上に向けて支援をしていきます。

農福連携の推進に向けて ～第1回高知市農福連携研究会～



研究会の様子

9月9日、高知農業改良普及所において第1回高知市農福連携研究会を開催し、農業及び福祉関係機関、福祉サービス事業所から16名が参加しました。

会では、新たに高知市自立支援協議会就労検討会を研究会会員として追加することを決定した後、農福連携促進コーディネーターの活動紹介や各機関からの情報提供、農福連携の推進について意見交換を行いました。

その結果、障害者等からの就労相談があった場合の情報共有の必要性や研究会への農業者の参加について意見が出されました。

普及所は、今後も障害者等の就労支援と農業の労働力確保に向け、高知市農福連携研究会の活動を支援していきます。

次作も安全安心な農産物の出荷にむけて ～出荷場GAP点検～



チェックシートを見ながら
打合せ

9月9日、普及所はJA高知県春野営農経済センター販売課と合同で、集出荷場のGAPの取組状況について点検を行いました。

今回の点検では、前回の点検時に共有した改善箇所の確認をするとともに、包装資材の保管管理などの新たな改善点を共有し、次回の点検までに見直しを行うことになりました。また、後日開催する作業員向けGAP研修会の事前打ち合わせも行いました。

今後も普及所はJAと連携し、安全安心な農産物の出荷に向けた活動を支援していきます。

地域農業の将来のあり方を協議 ～高知市地域計画検討会～



地図上で耕作する
農地を確認

当普及所管内では高知市、春野、鏡、土佐山の4地域で、36地区の地域計画・目標地図策定に向けて検討会を開催しています。

検討会では、農地の現況地図をもとに、さらなる農地の利用貸借、受け手の掘り起こし、地域計画素案への意見徴収をしながら、地域への共通認識を深めています。

普及所は、集落営農の推進や親元就農支援策などの情報提供をし、特に春野地域の検討会ではグループ討議の進行役を務め、参加者からの意見を引き出す役割を担っています。平場では規模拡大や新たな担い手の確保が求められる一方で、中山間地域では営農継続が難しく、耕作をやめるなどの厳しい意見が聞かれています。

引き続き検討会に参加し、地域での協議を進めていきます。